

政策シート

(政策名) 生産基盤の安定による農業振興
(予算費目名) 農業政策推進費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

農林漁業の新たな価値の創出や付加価値の向上、国内外の販路開拓を推進することで、雇用の創出と所得の向上による農林水産業の持続的発展を図る。
また、多面的機能を有する農業の基盤整備の推進を図るとともに、フルーツパークの管理運営を通じ、果樹農業振興と地域の発展を図る。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	334,151
	決算	
	事業費 (A)	248,541
	人件費 (B)	85,610
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
未来を拓く農林漁業育成事業費補助金申請件数(累計)	件	200	目標	20
			実績	
フルーツパーク入園者数	人	300,000	目標	300,000
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	豊かな産地の育成事業	○	○		110,214	77,384	4.7			0.1	
2	次代につなぐ農業推進事業		○		29,232	18,032	1.6				
3	フルーツパーク管理運営事業				153,639	149,439	0.6				
4	農業政策運営経費				41,066	3,686	5.1			0.6	
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					334,151	248,541	12.0	0.0	0.0	0.7	0

※人工単価（千円）正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 豊かな産地の育成事業

◇事業目的・事業対象

農商工連携・6次産業化推進事業により、農林漁業の新たな価値の創出や付加価値の向上、販路拡大を図るとともに、農業振興エリア整備事業により、農産物の付加価値向上やブランド化を図る。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.20】

1 農商工連携・6次産業化推進事業

(1)「未来を拓く農林漁業育成事業費補助金」事業の実施

- ①食と農林漁業の新たな事業創出・育成の助成 ②元気な農林水産業活動の助成
- ③補助事業の提案申請補助・審査会運営・進捗管理に係る委託

(2)海外販路開拓支援事業

シンガポールへの輸出促進事業等

2 農業振興エリア整備事業

(1)生産力強化基盤整備事業

①認定農業者を対象とした基盤整備 ②一般農家等を主としたきめ細かな基盤整備 ③畑地かんがい施設の機能診断

(2)生産力推進調査事業

①新規参入者や担い手の高生産性農地を再編整備するための調査

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H26	—	一般会計	自治事務(その他)		○	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	77,384
	決算	
	国・県支出	66,734
	市債	4,000
	その他	
	一般財源	6,650
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		32,830
人工	正規	4.7
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	0.1

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
未来を拓く農林漁業育成事業費補助金申請件数(累計)	20	20		80	200

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 豊かな産地の育成事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
●	→			
20	【農商工連携・6次産業化推進事業】 1 未来を拓く農林漁業育成事業費補助金の交付 2 フォローアップの実施	【農商工連携・6次産業化推進事業】 1 未来を拓く農林漁業育成事業費補助金の交付 2 フォローアップの実施	【農商工連携・6次産業化推進事業】 1 未来を拓く農林漁業育成事業費補助金の交付 2 フォローアップの実施	【農商工連携・6次産業化推進事業】 1 未来を拓く農林漁業育成事業費補助金の交付 2 フォローアップの実施
○○				

事業シート (事業名) 次代につなぐ農業推進事業

◇事業目的・事業対象

三方原用水二期地区整備事業や馬込川掃流用水調査事業等により、農業の基盤整備の推進を図る。また、西部農業共済組合支援事業や農業振興協議会等支援事業により、多様な主体による農業振興を図る。

◇事業の概要

- 三方原用水二期地区整備事業
国営三方原用水二期土地改良事業の平成27年度着手に向け、出張同意説明会及び出張同意徴集を行う。
- 馬込川掃流用水調査事業
馬込川河口部の堆砂状況の調査及び馬込川に付属する3用水(積志、曳馬、茄子)の還元水量を調査することにより、馬込川掃流用水の水利権更新協議の円滑な実施を図る。
- 西部農業共済組合支援事業(負担金)
農業災害補償法に基づき、地域農業者の農業災害補償に関する保険事業等を実施する静岡県西部農業共済組合に対し負担金を支出する。
- 農業振興協議会等支援事業
「浜松市農業振興協議会」のほか、「ふじのくに美しく品格のある邑連合」へ負担金を支出することにより、多様な主体による本市農業施策の推進や農業振興を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
	—	一般会計	自治事務(その他)			○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	18,032
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	18,032
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		11,200
人工	正規	1.6
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) フルーツパーク管理運営事業

◇事業目的・事業対象

フルーツパークの施設を適切に管理・運営することで、果実をはじめとする地域の農産物に親しみ、理解を深めることができる場をつくるとともに、果樹農業及び地域の活性化を図る。

◇事業の概要

1 フルーツパーク管理運営事業

(1) フルーツパークの魅力を活かし、来園者が安全で安心して楽しめるよう指定管理者による管理運営に対する指導を行う。

(2) フルーツパーク内の市所有の果樹や展示温室等の適正な管理及び市の責務による施設等の維持管理を図るため、委託及び修繕工事を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
	—	一般会計	自治事務(その他)			—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	149,439
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	149,439
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		4,200
人工	正規	0.6
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
フルーツパーク入園者数(人)		300,000		300,000	300,000

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 農業政策運営経費

◇事業目的・事業対象

農林水産政策課の一般諸経費

◇事業の概要

- 1 農地集約化促進事業
 - ・農地利用集積支援システム(GIS)の保守
 - 既存の農地基本台帳等のデータと農地GISによる農地情報を一体的に管理し、あわせて農地中間管理事業の活用等を行うことで、農地の流動化と農業の担い手への計画的な利用集積・集約を行う。
- 2 一般諸経費

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	3,686
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	3,686
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		37,380
人工	正規	5.1
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	0.6

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 生産基盤の安定による農業振興
(予算費目名) 畜産振興推進費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

畜産物の品質や生産性の向上のため、近代化、効率化を推進する。また、家畜衛生の向上を図り、周辺環境に配慮した畜産経営ができるよう環境対策に必要な設備・機械等の整備や衛生対策を推進する。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	27,148
	決算	
	事業費 (A)	9,608
	人件費 (B)	17,540
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
特定家畜伝染病発生防止（発生件数）	件	0	目標	0
			実績	
1戸あたりの牛・豚平均飼養頭数（頭）	頭	462	目標	343
			実績	
1戸あたりの採卵鶏・ブロイラー平均飼養羽数（千羽）	千羽	5.3	目標	3.6
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	畜産経営環境改善支援事業				14,060	7,740	0.8	0.2	0.0	0.0	0
2	畜産振興事業				9,382	1,662	1.0	0.2	0.0	0.0	0
3	畜産振興運営経費(一般諸経費のみ)				3,706	206	0.5	0.0	0.0	0.0	0
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					27,148	9,608	2.3	0.4	0.0	0.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 畜産経営環境改善支援事業

◇事業目的・事業対象

家畜伝染病の発生及びまん延防止を推進することで、家畜衛生の向上及び健全かつ安定的な畜産経営を図る。また、畜産経営に起因する悪臭や衛生害虫の発生を防止することで、家畜飼養環境を改善するとともに地域環境の保全を図り、併せて地域住民との調和を図る。

◇事業の概要

①畜産環境・衛生対策支援事業

・畜産経営悪臭防止対策

家畜排せつ物の処理施設・機械の整備に要する経費の一部を補助する。また、ハエ等の畜産衛生害虫の防除用資材を無償配付する。

・死亡獣畜処理対策

死亡獣畜の適正処理は家畜伝染病のまん延防止の重要な要因であるため、畜産農家にとって経済的な負担の大きい死亡獣畜の収集運搬処理に要する経費の一部を補助し、適正処理を推進する。

・家畜防疫対策

家畜防疫の円滑な推進を図るため、各種研修会等に参加し、情報の収集、伝達、啓発を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務	畜産衛生事業費補助金 交付要綱	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	7,740
	決算	
	国・県支出	3,000
	市債	0
	その他	0
一般財源	一般会計繰入金	4,740
	人件費(報酬等) (千円)	0
	人件費 (千円)	6,320
人工	正規	0.8
	再任用(h31)	0.2
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
特定家畜伝染病発生防止(発生件数)		0		0	

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 畜産振興事業

◇事業目的・事業対象

生産性の向上あるいは畜産物の品質向上のため、家畜の改良増殖や飼養技術の向上を推進し、畜産業の近代化、大規模化を推進する。

◇事業の概要

①畜産振興支援事業

・畜産振興協議会等に対する支援(負担金)

畜産振興に係る協議会が実施する各種事業を支援する。

・家畜飼養技術改善指導

乳牛の導入事業及び凍結精液を使用した乳牛の繁殖事業に要する経費の一部を補助する。

また、各種研修会、視察等に参加し、そこで得た有益情報を市内畜産農家へ提供し共有化を図る。

・畜産共進会出品の奨励

家畜の改良増殖、飼養管理技術の向上及び消費者への啓発を目的としている静岡県畜産共進会への出品を支援する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務	畜産振興事業費補助金 交付要綱	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,662
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	0
	一般財源	1,662
	一般会計繰入金	0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		7,720
人工	正規	1.0
	再任用(h31)	0.2
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
1戸あたりの牛・豚平均飼養頭数(頭)		343			462
1戸あたりの採卵鶏・ブロイラー平均飼養羽数(千羽)		3.6			5.3

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 畜産振興運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	206
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	0
	一般財源	206
	一般会計繰入金	0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		3,500
人工	正規	0.5
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 生産基盤の安定による農業振興
(予算費目名) 農業農村振興推進費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

浜松市民に対し、安全で安心な新鮮農産物を安定提供するために、必要不可欠な農業生産基盤の整備を進め、良好に維持管理する。
併せて、土地改良施設や農地の有する多面的機能を維持・発揮させるため、都市住民など地域外住民との交流を通じた活動への参加促進等を図り、新たな農村像について積極的に情報を発信する。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	2,054,552
	決算	
	事業費 (A)	1,919,813
	人件費 (B)	128,100
	報酬 (C)	6,639

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
農地・水保全(多面的機能)管理支払交付金 取組面積(ha)	ha	330	目標	300
			実績	
農業基盤整備国庫補助事業による農道整備 延長(m)	m	560	目標	290
			実績	
農業基盤整備国庫補助事業による用水路整 備延長(m)	m	1110	目標	570
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	天竜川下流用水協議会等支援事業				6,002	3,902	0.3	0.0	0.0	0.0	0
2	国・県施行事業				87,506	79,106	1.2	0.0	0.0	0.0	0
3	農業農村整備支援事業		○		248,777	214,417	4.2	0.8	0.8	0.0	0
4	農業農村整備償還助成事業				758,628	756,528	0.3	0.0	0.0	0.0	0
5	かんがい排水整備事業		○		114,781	105,081	1.2	0.0	0.5	0.0	0
6	農道整備事業		○		120,751	112,531	1.1	0.0	0.2	0.0	0
7	農業農村施設維持管理事業				190,138	142,939	4.4	0.2	2.4	1.0	6,639
8	農業基盤整備国庫補助事業				34,000	29,800	0.6	0.0	0.0	0.0	0
9	基幹水利施設維持管理事業				478,977	470,577	1.2	0.0	0.0	0.0	0
10	ふるさと・水と土基金積立金				879	179	0.1	0.0	0.0	0.0	0
11	春野地域自治区水窪ダム取水工事補償基金積立金				705	5	0.1	0.0	0.0	0.0	0
12	農業農村振興運営経費(一般諸経費のみ)				13,408	4,748	0.8	0.0	0.1	1.0	0
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					2,054,552	1,919,813	15.5	1.0	4.0	2.0	6,639

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 天竜川下流用水協議会等支援事業

◇事業目的・事業対象

農業総合整備事業の円滑な推進と技術向上を目的に、各土地改良事業関係団体に対し負担金を納入する。

◇事業の概要

生産性の高い農業の育成と活力ある農村社会の創設を目的とする静岡県土地改良事業団体連合会等の各土地改良事業関係団体に対し、規約等に定められた浜松市分の負担金を納入する。

- ・天竜川下流用水協議会負担金
- ・静岡県土地改良事業団体連合会負担金
- ・西遠土地改良事業推進協議会負担金
- ・浜松市農業農村整備事業連絡協議会負担金

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和34年度	-	一般会計	自治事務	各協議会規約	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	3,902
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	0
	一般財源	3,902
	一般会計繰入金	0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		2,100
人工	正規	0.3
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 国・県施行事業

◇事業目的・事業対象

市の要望等により国や県が実施する事業に対して、市が負担金を支出し農業の生産性向上と経営基盤の安定を図る。

◇事業の概要

① 県単独農業農村整備調査事業(負担金)

農業農村整備事業の計画樹立のため、静岡県が行う調査、測量、設計及び試験等に対し負担金を支出するもの。

[負担割合: 県50% 市50%]

② 県営土地改良事業(負担金)

農業・農村の活性化や農業生産性の向上等を図るため、国・県の財源を活用し、条件不利地域の農業・農村の活性化、幹線用水路などの基幹的農業水利施設の長寿命化、土地改良施設の防災・減災対策等の県営による農業農村整備事業に対し負担金を支出するもの。

[負担割合 工事費 国:50% 県:42~25% 市:8~25%]

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和42年度	-	一般会計	自治事務	整備事業に関する協定書	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	79,106
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	0
	一般財源	79,106
	一般会計繰入金	0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		8,400
人工	正規	1.2
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
国・県施行各事業の毎年度達成率(%)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 農業農村整備支援事業

◇事業目的・事業対象

各土地改良事業の関係団体を育成支援するため、事業団体の管理運営経費・事業費に対して助成を行う。

◇事業の概要

①土地改良区施設整備助成事業(補助金)

土地改良事業および土地改良施設の維持管理をする土地改良区等に対して、農業の生産性の向上、農業総生産の増大、また農産物等の浸水被害の防止を図るための補助金

②農地・水保全管理(多面的機能)支払交付金事業

農業・農村の多面的機能を維持・発揮するため、地域協働において設立された組織が取り組む質の高い農業用施設や農村環境の保全管理活動に対し支援を行うもの。[事業負担割合 国:50% 県:25% 市:25%]

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和45年度	-	一般会計	自治事務	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法	-	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	214,417
	決算	
	国・県支出	158,590
	市債	0
	その他	0
	一般財源	55,827
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		34,360
人工	正規	4.2
	再任用(h31)	0.8
	再任用(h26)	0.8
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
農地・水保全管理(多面的機能)支払交付金 取組面積(ha)		300			330

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 農業農村整備償還助成事業

◇事業目的・事業対象

農道や用排水施設整備等の土地改良事業の実施のため、土地改良区等が株式会社日本政策金融公庫等から借入れた事業資金の償還に対して助成することにより、農業生産基盤の整備促進を図る。

◇事業の概要

土地改良区等が施行する各種土地改良事業の事業資金の償還(元利均等返済)に対して補助金を交付することにより、土地改良区等の健全な運営を支援し、農業基盤の整備や施設の維持保全に努める。

- ① 土地改良助成事業
- ② 基幹農道整備助成事業
- ③ 県営ため池等整備助成事業
- ④ 県営かんがい排水助成事業
- ⑤ 県営基幹水利施設補修助成事業
- ⑥ 団体営基盤整備促進助成事業
- ⑦ 天竜川下流用水土地改良助成事業
- ⑧ 県営畑地帯総合土地改良助成事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和31年度	-	一般会計	自治事務	市土地改良事業償還費 補助金交付要綱	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	756,528
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	0
	一般財源	756,528
	一般会計繰入金	0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		2,100
人工	正規	0.3
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) かんがい排水整備事業

◇事業目的・事業対象

農地に必要な用水を供給(かんがい)するとともに、不必要な水を速やかに排除(排水)する施設を整備して、農産物の生産性を高め、農地を守る。

◇事業の概要

- ①かんがい排水整備国庫補助事業
市内のため池35か所のうち警戒ため池10池の耐震調査及びハザードマップ作成を行う。(国100%)
- ②かんがい排水整備県補助事業
県単独農業農村整備事業の補助を受け、かんがい排水路の整備を実施する。(県50%、市50%)
- ③かんがい排水整備単独事業
国・県の補助事業の対象とならない小規模な農業用水路の改良工事及び漏水等の維持修繕工事等を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和24年度	-	一般会計	自治事務	震災対策農業水利施設整備事業実施要綱	-	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	105,081
	決算	
	国・県支出	25,456
	市債	3,400
	その他	0
	一般財源	76,225
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		9,700
人工	正規	1.2
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.5
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
用排水路の整備・補修(地元要望)に対する整備率(%)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 農道整備事業

◇事業目的・事業対象

農業振興地域内において農道の整備を実施し、農産物輸送の合理化と農業経営の安定を図る。

◇事業の概要

①農道整備県補助事業

静岡県が単独で助成する振興山村地域及び過疎地域等の農道整備を行い、農業機械の搬入による生産性向上及び農作物輸送による荷痛み等を防止し農業経営の安定を図る。(県:50%、市50%)

②農道整備単独事業

国・県の補助事業とならない小規模な農道の整備工事および路面補修等の維持修繕工事を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和24年度	-	一般会計	自治事務	県単独農業農村整備事業費等補助金交付要綱	-	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	112,531
	決算	
	国・県支出	23,922
	市債	23,800
	その他	0
	一般財源	64,809
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		8,220
人工	正規	1.1
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.2
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
農道の整備・補修(地元要望)に対する整備率(%)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 農業農村施設維持管理事業

◇事業目的・事業対象

土地改良事業により整備された施設の適切な整備、補修等により、施設の目的を的確に捉えた維持管理を行う。

◇事業の概要

- ①揚排水施設・樋門維持管理事業:排水機場・揚水機場・樋門を適切に維持管理し、湛水被害を防止する。
- ②揚排水施設維持管理助成事業:土地改良区及び水利組合が管理する揚・排水機場の維持管理を支援する。
- ③土地改良施設維持管理適正化事業:土地改良施設老朽化対策のための総合的な計画により整備補修を行う。
- ④農村公園維持管理事業:地域の生活空間の憩いの場である農村公園の管理を実施する。
- ⑤田園空間施設維持管理事業:農村区域の伝統的農業施設や農村環境の豊かな自然情報発信のため、奥浜名湖田園空間博物館及びみかんの里資料館を適正に管理運営する。
- ⑥農業農村改善センター維持管理事業:農村地域の住民等の健康保持及び生活向上を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和47年度	-	一般会計	自治事務(その他)	土地改良法、農村公園条例	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	142,939
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	1,162
	一般財源	141,777
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		6,639
人件費 (千円)		40,560
人工	正規	4.4
	再任用(h31)	0.2
	再任用(h26)	2.4
	非常勤	1.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
排水機場・農村公園施設の維持管理率(%)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 農業基盤整備国庫補助事業

◇事業目的・事業対象

競争力ある「攻め農業」を実現するため、地域の実情に応じて敏速かつきめ細やかな区画拡大等の農地の整備、老朽施設の更新等の農業水利施設の整備を実施することにより、農地の大区画化、担い手への農地集積を加速させる。

◇事業の概要

農業用排水路整備 3箇所
 農道整備工事 1箇所
 (負担割合:国50%、市50%)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
平成25年度	-	一般会計	自治事務	農業基盤整備促進事業実施要綱	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	29,800
	決算	
	国・県支出	15,150
	市債	0
	その他	0
	一般財源	14,650
	一般会計繰入金	0
	人件費(報酬等) (千円)	0
	人件費 (千円)	4,200
人工	正規	0.6
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
農業基盤整備国庫補助事業を活用した農道整備延長(m)		290			560
農業基盤整備国庫補助事業を活用した用水路整備延長(m)		570			1,110

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 基幹水利施設維持管理事業

◇事業目的・事業対象

農業用水の安定供給のため、国営・県営土地改良施設の維持管理等を行う。

◇事業の概要

①須部頭工ほか管理事業

浜名湖北部地域への農業用水の安定供給のため造成された国営施設(須部頭首工、湖北揚水機場及び都田川ダム取水施設)について、当施設の操作点検業務を浜名湖北部用水土地改良区へ委託して実施する。

②基幹水利施設維持管理負担金支援事業(負担金)

国営・県営土地改良施設のうち、農業用水、工業用水、上水道用水等の共有財産部分の管理費負担金を、浜松土地改良区及び浜名湖北部用水土地改良区に対して支出する。

③基幹水利施設維持管理助成事業(補助金)及び④基幹水利施設改修費助成事業(補助金)

三方原用水、天竜川下流用水、浜名湖北部用水等の基幹水利施設の維持管理・改修経費について、浜松土地改良区及び浜名湖北部用水土地改良区に対して補助金を交付する。

④浜名湖北部用水土地改良区合理化助成事業(補助金)

浜名湖北部用水土地改良区が、自主財源の確保等により経営の健全化を確立するまでの間、時限的(平成27年度まで)に補助金を交付する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和47年度	-	一般会計	自治事務	浜松市須部頭首工管理条例	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	470,577
	決算	
	国・県支出	26,554
	市債	0
	その他	35,656
	一般財源	408,367
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		8,400
人工	正規	1.2
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) ふるさと・水と土基金積立金

◇事業目的・事業対象

土地改良施設等の地域資源の保全及び活用を通して、農村地域の活性化を図るために設置している「浜松市ふるさと・水と土基金」から生じる利子を積み立てる。

◇事業の概要

ふるさと・水と土基金を運用し、積立利子によりふるさと・水と土保全事業を行う。
 本基金は、平成5年に「ため池や用水路等の機能を維持するために地域住民の活動等を促進することを目的に、市町村の基金の設置に要する経費」として地方交付税を基金としたものである。
 土地改良施設等の地域資源の保全及び活用を通して、農村地域の活性化を図るために設置している「浜松市ふるさと・水と土基金」から生じる利子を積み立てるもの。
 ○平成26年度末残高 107,661,576円

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和62年度	-	一般会計	自治事務	ふるさと・水と土基金条例	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	179
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	178
	一般財源	1
	一般会計繰入金	0
	人件費(報酬等) (千円)	0
	人件費 (千円)	700
人工	正規	0.1
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 春野地域自治区水窪ダム取水工事補償基金積立金

◇事業目的・事業対象

「浜松市春野地域自治区水窪ダム取水工事補償基金」を運用し、かんがい排水事業や補償事業の資金に充てるとともに、基金から生じる利子を積み立てる。

◇事業の概要

昭和41年、電源開発(株)が行った水窪発電所新設工事に伴い、気田川上流(門桁地内)からの取水に対する補償金として、168,000,000円を受けた。これを「浜松市春野地域自治区水窪ダム取水工事補償基金」として運用し、積立利子により補償対象地域の土地改良施設の動力費等に充てるとともに、基金から生じる利子を積み立てる。
○平成26年度末残高 4,747,475円

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和38年度	平成33年度	一般会計	自治事務	浜松市春野地域自治区水窪ダム取水工事補償基金	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	5
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	5
	一般財源	0
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		700
人工	正規	0.1
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 農業農村振興運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	4,748
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	3
	一般財源	4,745
	一般会計繰入金	0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		8,660
人工	正規	0.8
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.1
	非常勤	1.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 生産基盤の安定による農業振興
(予算費目名) 農業振興費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

基幹的な担い手を育成・確保等を支援し、更なる産地力の高い農業の実現を図るとともに、浜松農産物の地産地消を推進し、市民へ環境に配慮した安心・安全な農産物の安定供給を図りつつ農業経営基盤を強化し、魅力ある農業を展開する。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	461,893
	決算	
	事業費 (A)	363,853
	人件費 (B)	98,040
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
担い手への農地集積率(%)	%	50.0	目標	30.0
			実績	
耕作放棄地の解消面積(ha/年)	(ha/年)	15.0	目標	13.0
			実績	
野生鳥獣による農作物被害金額(万円)	万円	2,430	目標	4,750
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	生産・経営基盤強化事業				100,624	69,084	4.3	0.4	0.0	0.0	0
2	農産物生産振興事業				133,850	121,250	1.8	0.0	0.0	0.0	0
3	農業バイオセンター維持管理事業				31,388	10,388	3.0	0.0	0.0	0.0	0
4	環境保全型農業振興事業				19,733	6,713	1.5	0.7	0.0	0.0	0
5	市民に親しまれる農業推進事業				1,634	934	0.1	0.0	0.0	0.0	0
6	中山間・山間地域振興事業				161,340	149,740	1.4	0.5	0.0	0.0	0
7	農業振興運営経費(一般諸経費のみ)				13,324	5,744	0.9	0.2	0.0	0.2	0
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					461,893	363,853	13.0	1.8	0.0	0.2	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 生産・経営基盤強化事業

◇事業目的・事業対象

野生鳥獣による被害を最小限に抑制し、農業の振興を図ることを目的とする。

◇事業の概要

①農作物被害対策支援事業

農業者等が実施する電気柵設置等の鳥獣被害対策に要する経費の一部を補助する。また、鳥獣被害防止総合対策交付金(国庫)を活用し、被害の実態を把握し、地域の実情や要望に応じた様々な対策を集落の住民とともに複合的に実施していく。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和36年度	-	一般会計	自治事務(その他)	-	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	69,084
	決算	
	国・県支出	20,500
	市債	0
	その他	8,510
	一般財源	40,074
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		31,540
人工	正規	4.3
	再任用(h31)	0.4
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
野生鳥獣による農作物被害金額(万円)		4,750			2,430

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 農産物生産振興事業

◇事業目的・事業対象

全国有数の農業算出額を誇る「はままつ農業」の生産を維持・発展させると共に販路拡大を図るため、果樹・花き・茶等、多様な農産物の生産振興及びブランド化を推進する。

◇事業の概要

・農産物振興団体への負担金交付…茶関係2団体(①浜松市茶振興協議会 500千円②世界緑茶協会 350千円)
【目的】:浜松市の茶業振興を図る。国内外に茶の魅力を発信することにより茶業の振興に資する。
【内容】:浜松のお茶のブランド化及びPR…八十八夜の茶会・茶摘み、新商品開発(紅茶製造など)、新年お茶初売り、浜松市茶品評会、ブランド化セミナーの開催、茶振興活動支援、茶文化の創造・普及と茶に関する最新情報の発信。
 ・農産物振興団体の事務局としての各種振興事務(上記①と果樹振興部…事務局:北部農林事務所)
 ・各種農産物振興、国などの補助事業の支援事務(協議、庶務、現地調査・確認)
【内容】:(国)果樹・茶経営安定緊急対策事業、(国)産地活性化総合対策事業、静岡県農業振興基金協会助成事業
 ・強い農業づくり交付金事業(国事業)の支援事務(補助金、協議、庶務、現地調査・確認)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和51年度	-	一般会計	自治事務(その他)	強い農業づくり交付金 実施要綱	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	121,250
	決算	
国・県支出		100,000
市債		0
その他		0
一般財源		21,250
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		12,600
人工	正規	1.8
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
(国)果樹・茶経営安定緊急対策事業実施面積(ha)		56			60
浜松市の茶PR来場者数(人)		2,000			3,000

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 農業バイオセンター維持管理事業

◇事業目的・事業対象

地場特産物の生産振興と多様化する農産品に対応するため、付加価値のある高品質な優良品種の研究開発の拠点となる農業バイオセンターの適切な維持管理を実施する。

◇事業の概要

- ・優良種苗等の研究開発について
 静岡県との共同研究により、バイオセンターで、カキ矮性台木培養苗の生産方法の研究を行う。
 センター単独研究として、クルクマ培養苗の生産方法の研究を行う。
- ・培養苗の供給
 浜松市園芸協会が市内農協を通じて農業者に供給する。
- ・農業バイオセンター施設の維持管理
 施設の適正な管理のため、保守点検業務委託や施設の修繕等を実施する。
- ・センターPR事業
 学校農園等甘藷培養苗提供事業により、培養した甘藷のつる1,000本(予定)を市内の学校等に提供する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
平成4年度	-	一般会計	自治事務	-	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	10,388
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	2,364
	一般財源	8,024
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		21,000
人工	正規	3.0
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
組織培養技術等による優良種苗や無病苗等の供給数(株)		130,000			120,000

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 環境保全型農業振興事業

◇事業目的・事業対象

化学肥料や家畜ふん尿、農薬による環境への影響などが心配される。環境に配慮した農業生産活動や有機質資源のリサイクル化など持続可能な農業を推進し、環境保全対策に取り組む。

◇事業の概要

- ・環境保全型農業を推進するため、農業関係団体、生産者組合、指導機関などが連携する協議会活動を実施する。
- ・持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画の認定に関する事務を実施する。
- ・土づくりと化学肥料・農薬の低減を一体的に行う持続性の高い農業生産方式を採用し浜松市内の消費者へ向けて出荷をしている出荷者組合及び個人を支援する。
- ・環境保全型農業直接支払事業において、環境保全に効果の高い営農活動を促進するため、国・県・市が一体となって減化学農薬・減化学肥料で農業を行っている農業者に対し掛かり増し経費等の軽減を図る。(10aあたり支援単価:国4千円、県2千円、市2千円)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
平成14年度	-	一般会計	自治事務	持続性の高い農業生産方式の導入に関する法律	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	6,713
	決算	
	国・県支出	2,341
	市債	0
	その他	0
	一般財源	4,372
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		13,020
人工	正規	1.5
	再任用(h31)	0.7
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
エコファーマー認証者目標700人に対する達成度(%)		60		65	70

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 市民に親しまれる農業推進事業

◇事業目的・事業対象

多様化する余暇対策として、憩いの場の提供及び農業に触れ合う場の提供をする。

◇事業の概要

①農業施設維持管理事業
地域活性化のため設置した農業施設の適切な維持管理を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和52年度	-	一般会計	自治事務	-	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	934
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	0
	一般財源	934
	一般会計繰入金	0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		700
人工	正規	0.1
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 中山間・山間地域振興事業

◇事業目的・事業対象

中山間地域は、経営耕地が急峻・狭小なため生産条件が不利である。このため、農業の近代化、高付加価値化を進め、農業生産活動を継続できるよう支援する。

◇事業の概要

①中山間地域等農業振興交付金事業

条件不利な農用地を耕作する農業者等が農地・道路・水路等の適正な管理の方針を定め、農業生産体制や活動について集落として協定を締結し、5年間以上継続して活動する農業者等に対し農地の不利性や面積に応じて交付金を交付する。

②山間地域農業生産活動助成事業(補助金)

農業の近代化等により農作業の軽減化及び多品種の作物生産と高付価値型農業の普及等を図り、農業生産活動を継続しようとする農業者に対し支援する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
平成17年度	-	一般会計	自治事務	食料・農業・農村基本法	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	149,740
	決算	
	国・県支出	105,906
	市債	3,200
	その他	1,000
	一般財源	39,634
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		11,600
人工	正規	1.4
	再任用(h31)	0.5
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
中山間地域直接支払 協定農用地面積(ha)		1,357			1,300

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 農業振興運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
					-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	5,744
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	160
	一般財源	5,584
	一般会計繰入金	0
	人件費(報酬等) (千円)	0
	人件費 (千円)	7,580
人工	正規	0.9
	再任用(h31)	0.2
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.2

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 生産基盤の安定による農業振興
(予算費目名) 農地・農業用施設災害復旧費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

暴風、洪水、高潮、地震等の異常な自然現象によって起こる農地、農業用施設の損害を原形に復旧する災害復旧事業を実施して、農業の維持を図り、その経営の安定化を図る。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	103,500
	決算	
	事業費 (A)	100,000
	人件費 (B)	3,500
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
災害復旧工事着工率(%)	%	100	目標	100
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	農地・農業用施設災害復旧事業				103,500	100,000	0.5	0.0	0.0	0.0	0
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					103,500	100,000	0.5	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 農地・農業用施設災害復旧事業

◇事業目的・事業対象

暴風、洪水、高潮、地震等の異常な自然現象によって起こる農地、農業用施設の損害を原形に復旧する災害復旧事業を実施して、農業の維持を図り、その経営の安定化を図る。

◇事業の概要

①国庫補助事業

農地及び農業用施設(かんがい排水施設、農業用道路等)が被災を受けた場合の災害復旧事業で、国の補助が受けられるもの。

②市単独事業

農地及び農業用施設(かんがい排水施設、農業用道路等)が被災を受けた場合の災害復旧事業で、国の補助が受けられないもの。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和26年度	-	一般会計	自治事務(その他)	農林水産業施設災害復旧事業 国庫補助の暫定措置に関する法律	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	100,000
	決算	
国・県支出		25,000
市債		36,000
その他		3
一般財源		38,997
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		3,500
人工	正規	0.5
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
災害復旧工事の着工率(%)		100		100	100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 生産基盤の安定による農業振興
(予算費目名) 農業振興費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

基幹的な担い手を育成・確保等を支援し、更なる産地力の高い農業の実現を図るとともに、浜松農産物の地産地消を推進し、市民へ環境に配慮した安心・安全な農産物の安定供給を図りつつ農業経営基盤を強化し、魅力ある農業を展開する。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	108,284
	決算	
	事業費 (A)	27,884
	人件費 (B)	80,400
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
担い手への農地集積率(%)	%	50.0	目標	30.0
			実績	
耕作放棄地の解消面積(ha/年)	(ha/年)	15.0	目標	13.0
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	農地の確保と有効利用事業	○	○		108,284	27,884	10.6	1.0	1.0	0.0	0
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					108,284	27,884	10.6	1.0	1.0	0.0	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 農地の確保と有効利用事業

◇事業目的・事業対象

農業振興地域整備計画に基づいて農業振興地域の農用地を保全するとともに、農業経営基盤を強化する。

◇事業の概要

①農業振興地域制度管理事業

農業振興地域整備計画に基づいて農業振興地域における農用地区域の保全を図るための「農用地区域データ管理システム(地図情報システム含む)」を活用し、各区ごとに農用地管理を行う。

②耕作放棄地対策事業

平成21・22年度に行われた耕作放棄地調査の調査結果を基に作成した耕作放棄地分布図を公開し情報提供を行う。

耕作放棄地を借り、営農地として再生利用する農業者に対し、その再生費用について、国・県の交付金と協調し交付金を交付し、耕作放棄地の再生を図る。

【重点戦略項目 NO19】

③利用権(農地の貸し借り)促進事業

農業経営基盤強化のための農地の集積を図る。

(ただし、0.4人工は農業振興課所属職員)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和48年度	-	一般会計	自治事務	農業振興地域の整備に関する法律、農業経営基盤強化促進法	○	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	27,884
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	298
	一般財源	27,586
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		80,400
人工	正規	10.6
	再任用(h31)	1.0
	再任用(h26)	1.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
担い手への農地集積率(%)	19	30		36	50
農地の貸し借り面積(ha)	19	1,100		1,500	1,800
耕作放棄地の解消面積(ha/年)		13.0		14.0	15.0

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 農地の確保と有効利用事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
	➔			
19	農地流動化の推進(中間管理事業の活用及び 利用権設定の促進)	農地流動化の推進(中間管理事業の活用及び 利用権設定の促進)	農地流動化の推進(中間管理事業の活用及び 利用権設定の促進)	農地流動化の推進(中間管理事業の活用及び 利用権設定の促進)
〇〇				